

オープンプラン 2年生 算数  
 「新しい計算を考えよう」  
 ～○○のだんのかげざんを作ろう～

2年生になり、新たにかげざんを学びました。かけざんを知るにあたり、初めはたしざん  
 の考えから始まります。

最初は「おせんべいが5枚ずつ入ったお皿  
 が3皿あります。おせんべいは全部でいく  
 つでしょうか。」と問われると、子ども達は  
 「 $5+5+5=15$ 」と答えます。そこから同じ数  
 のかたまりが何個もある時にはかけざんを  
 使えるということを学びました。

文章を読んで、実際にお皿におせんべいを  
 並べながら、子どもたちは考えました。



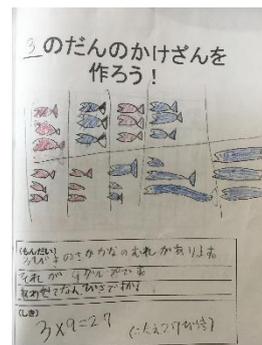
しかし、いざ「 $5 \times 3$ は？」と言われると「3  
 枚入りのおせんべいが5皿分」なのか「5枚  
 入りのおせんべいが3皿分」なのかわか  
 らなくなってしまいます。

そのため、子ども達が自分でかけざんの問題  
 を作り、かけざんのイメージを定着させ  
 る活動を続けました。

最初は5の段の問題作りから始めました。

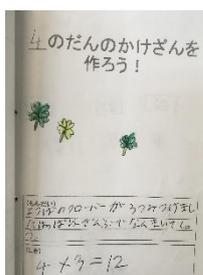
式は書いても絵にしてみると、かけられる  
 数とかける数が反対になっている子がちら  
 ほらといました。

しかし、回数を重ねると自然と感覚が身に  
 つき、間違いがほとんどなくなりました。

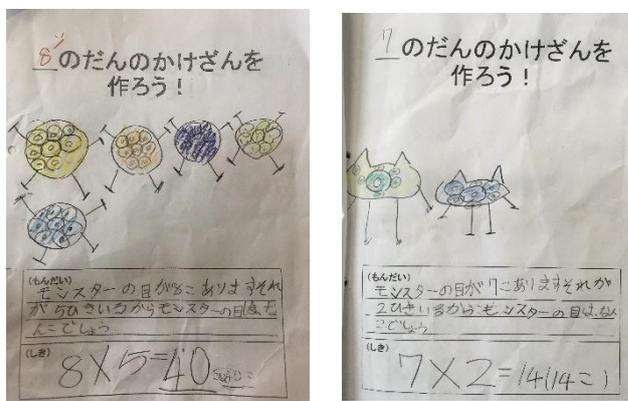


また、かけざんの仕組みがわかると今度は  
 自分でかけざんの問題を作るのではなく、  
 身近なところから探すようになりました。

4の段ではクローバーや車のタイヤの数、6  
 の段ではカブトムシの足の本数、7の段で  
 は一週間が7日間であることを使い、かけ  
 ざんの問題を作っていました。



他にも、かけざんのイメージを自分でもてるように、毎回同じものを題材にして問題作りに励む子もいます。



作った問題は小冊子としてまとめたため、子どもたちは、他の子が作った問題を見て楽しんでいます。

九九をただ暗記するだけでなく、かけざんの意味を正しく理解して、この先の学習へ繋げて欲しいと思っています。